

事業報告概要書（公表版）

1 基本情報							
施設名又はグループ名			指定管理者名及び団体概要				
夢の島公園・夢の島熱帯植物館			(指定管理者名) アメニス夢の島グループ				
			(団体の概要) 代表企業：株式会社日比谷アメニス（統括管理）				
指定期間			○株式会社グリーンバル（植栽管理他） ○株式会社日比谷花壇（マーケティング・イベント他）				
R5.4.1～R10.3.31（年間）			○アズビル株式会社（設備保守） ○日建総業株式会社（施設清掃・警備）				
			○株式会社エコルシステム（情報管理他） 計6社による連合体				
2 施設名		3 収支(単位:千円)					
夢の島公園 夢の島熱帯植物館			令和7年度	令和6年度	令和5年度	公園別支出額	
		項目	金額	金額	金額		
		収入 計	312,937	305,738	293,113		
		内 訳	指定管理料	312,937	305,182		292,993
			利用料金				
			その他収入		556		120
		支出 計	312,937	305,738	293,113		
収支差	0	0	0				
4 管理運営の概要							
<p>公園：アーチェリー場と連携した子供向け芝滑りイベント、ティラノサウルスレース、ツリークライミング体験会ナイトバブルショーの誘致に成功しイベントを開催。新たな公園利用方法を模索しながら「夢の島公園」の認知度の向上・普及につなげた。また継続して都立大江戸高等学校ボランティア部と、月に一度の1DAYボランティアで協働しており、公園の魅力向上に貢献した。また、徐々にではあるが認知されてきたSDGsにつながるイベントとして夢の島公園を地域のリサイクル中継地点とする「植物交換会」や「中古園芸資材の無料提供」を実施。高いリサイクル率を達成している。</p> <p>植物館：継続して実施している「夏の夜間開館」に加え、秋から冬にかけ、「Garden of EDEN」「Aerosculpture ver.2『匂う森』」の夜間開館を実施。通常閑散期である11月～2月に実施したことで、来館促進や認知度向上に貢献した。これらのイベントにより新規の来館者の獲得につながっているだけでなく、新しい楽しみ方や貴重な体験を提供する事が出来、リピーターの獲得にも寄与している。また、日々のSNS運用や「ポップアップ展」を通して、10～20代の若年層が年間を通じて多く来館しており、目標来館者数の15万人を超える過去最多の168,519人(前年比112.5%)となり、当グループ管理開始以来、最多来館者数となり、当グループの指定管理開始からの累計来館者数は200万人を超えた。</p>							
5 管理状況							
①維持管理							
<p>公園：降雪・積雪予報時には事前に融雪剤散布などの対応を行い、園路・階段での転倒事故を未然に防いだ。また、台風・強風予報の際は夜間の警備待機・早朝巡回を行うことで利用者の安全を確保した。排水管高圧洗浄や便所特別清掃を計画的に実施し、不要な作業にかかるコストの削減や老朽化等における施設の予防保全に寄与した。また、緑地部からの指示による緊急樹木点検・診断だけではなく、日常点検に基づき大径木管理を計画実施したことで、落枝による事故「0」を達成できたが、倒木や落枝がなくなったわけではないため、継続して大径木管理の実施を行う。</p> <p>植物館：夏季は災害級の猛暑であり、植物館入り口にはミスト扇風機を2台設置、テント・扇風機の設置による、日陰と風のある休憩スペースを確保した。また、9月から10月末まで新江東清掃工場からの熱供給が停止したことを受け、企画展示室にはスポットクーラー2台、扇風機3台、イベントホールには大型冷風扇、スポットクーラー各1台を設置し、映像ホールについては緊急対応経費により後付けのクーラーを設置し、お客様が快適に過ごせるよう努めた。さらに、老朽化が進んだ施設設備補修は耐用年数・経年劣化・利用者の満足度と現状を照らし合わせ、緊急対応経費を活用し、各種実施した。大温室や室内展示スペースの熱帯植物に対しては、定期的な施肥や入替、メンテナンスを行い、花木・観葉・果樹を常にいい状態で鑑賞していただけるよう努めた他、企画展示と連動した植物の充実も継続して実施している。</p>							
②利用者への対応							
<p>公園：アーチェリー場を会場としてティラノサウルスレース、ナイトバブルショーの誘致に成功しイベントを開催した。それぞれのイベント参加者へのアンケートからも「はじめて来た」「数十年ぶりに来た」などのお声をいただくなど、認知度の向上や新たな公園利用方法について提案してきたことで、広く一般の方に対しても公園利用機会の創出や地域活性化につながるヒントを提供する事が出来た。</p> <p>植物館：ターゲット層を定め継続してきたSNS運用とポップアップ展の開催に伴い、若い世代が年間を通じて増加するなど、認知度向上に大きく寄与した。また、新たな取り組みとして秋から冬季に夜間開館を実施。「Garden of EDEN」約3週間： 9238人、「Aerosculpture ver.2『匂う森』」3日間： 3323人の来館があった。 夏の夜間開館についても昨年同様、夜の植物館を体験していただき、最終日には奄美大島関連イベントを実施し、3819人の方楽しんでいただいた。また、継続してコミュニケーションロボット「ココ」によるSDGsや生物多様性を取り上げるイベントを開始した。植物館としてのSDGsや生物多様性への理解を深めることに寄与した。</p>							
6 利用者アンケート結果							
実施方法： QRコードを読み取、スマホで回答						※植物館の評価は4段階評価であるため、1.25を掛け5段階評価の数値に補正	
施設名	総合満足度	植栽管理	施設の清潔さ	安全・安心	職員の対応	施設ごとの分析・評価	
夢の島公園	4.7	4.6	4.5	4.5	4.1	全体的な満足度は向上した。駐車場の利用方法に関する苦情が多数となったが、今年度は工事により駐車可能台数が大きく減ったことが要因となっている。	
夢の島熱帯植物館	4.8	4.8	4.8	4.9	4.6	全体的、ほとんどの項目で「不満」の回答が減っており、着実に満足度の向上が感じられる。特に課題であった「売店・飲食サービス」で、今年度はコーヒーマシンと定期的なキッチンカーの導入により、0.2ポイント上昇した。来年度はカフェの土日営業再開によりさらなる満足度の向上を目指していく。	
7 入園者数の状況（単位：人）							
施設名	当該年度	分析					
夢の島公園	488,306	アーチェリー場と協働した「ティラノサウルスレース」や「ナイトバブルショー」の開催及び東京パークガーデンアワードの開催地になることで新規来園者の獲得と入園者数の増加につながった。					
夢の島熱帯植物館	168,519	前年度に引き続き、SNSの影響を受けフォトジェニックな体験を求める10・20代の来館が増加傾向である。ドラマ「ソロ活女子のススメ5」で当館が放送された4月後半から、癒しや質の良い体験を求める30代・40代のソロ来館者が増加した。今年度は過度な混雑を緩和し充実した来館体験をしていただくため、閑散期となる夏季にはゆめねつ夜間開館を2週に分け4日間開催し、冬季には11.12月に夜間開館「Garden of EDEN」、1・2月に「CCBTアーティストフェロー上田麻希展覧会 Aerosculpture ver.2『匂う森』」を開催するなど、閑散期での集客を図りつつ年間の来館者数増加を達成した。					
合 計	656,825						

1. 多種多様な公園の利用による賑わいの創出

団体・企業との連携による新規イベントの開催

ティラノサウルスレース
in ドリームアイランド



日本ティラノサウルス競技連盟、アーチェリー場と協働し開催。会場装飾やワークショップを近隣企業と連携して実施。認知度向上に貢献。

team bub.BUBBLE
TOUR 2025 in 東京



無数のシャボン玉で夜空を彩るナイトバブルショーをアーチェリー場で開催。SNSの投稿も見られ認知度向上へとつながった。

定期的な公園利用

陸上競技場
スポーツクラブ利用



江東区の小学生によるラグビーの練習場として月3、4回陸上競技場を利用いただくことで、スポーツ振興に貢献している。

公園全体を使った
企業による社内イベント利用



企業の駅伝大会の会場として毎年公園を利用いただいている。2000人が参加され、公園の賑わい創出、近隣施設利用による地域活性化に貢献している。

2. 各種ボランティア活動

都立大江戸高等学校ボランティア部との協働



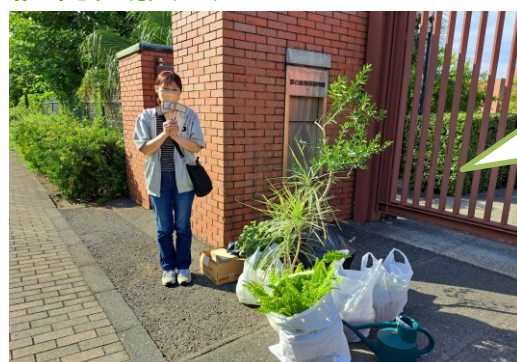
1DAYボランティアとして月1回の活動を年間を通して実施した。文化祭では、一年間の活動をまとめたポスターを掲示、活動で作成した「シェアシード」も設置し、文化祭参加者に活動や夢の島公園を知っていただく機会となった。また、卒業後も引き続き参加いただける方や中学生の参加も受け入れており、地域住民が集える交流の場を醸成している。

1DAYボランティア(一般)の開催

子供から大人まで幅広い層の方に参加いただいている活動。過去のアンケートの声を踏まえ、初心者から園芸上級者の幅広い層の方々が楽しめる内容として、常連参加者は難易度の高い工程へチャレンジでき、初心者は常連参加者からアドバイスをもらうことで、会話も弾み、楽しみながら活動に参加いただくことができた。



植物交換会におけるボランティア活動



常連の方より、募集開始前から、春秋ともに資材をお持ち込みいただき、イベントの盛り上げにつながっている。

夢の島ボランティア会には「緑の相談所」として参加いただいております。参加者からは、大変好評である。



3. 地域活性化へ貢献

地域連携イベント協働

三井リンクラボ新木場3開催

「LINK-lab Summer Experience」



植物館では3Dプリンターで出力するために植物のデータを収集。公園では小枝など発生材を使っていかだの材料を提供。木製の新木場エリアのジオラマを作成し、

浮かべるワークショップを開催。移動には地域バス会社を利用し、地域の認知度向上に貢献。また、SDGsに関する普及啓発につなげた。

地域回遊イベント協働

『Alku Tokyo』創刊3周年スタンプラリー協働



パブリシティ活動として情報提供を行っていた『Alku Tokyo』による周年事業のスタンプラリースポットとして協働したことで初来園のきっかけを創出した。

また、地域周遊イベントとなっており、地域活性化に貢献することができた。

4. 植物交換会 公園・夢プラン大賞2025 入選

実現した夢部門 受賞プラン詳細

入選	
審査結果	入選
プラン名	植物交換会「あなたの要らないを誰かの欲しいにつなげます」
実施日	2022/4/18～2025/9/26
実施団体名	株式会社グリーバル
主催	株式会社グリーバル
開催場所	都立夢の島公園（東京都江東区）
参加人数	7,140人
スタッフ数	5人
 	



「公園・夢プラン大賞」は、全国の公園緑地等を舞台に、市民による自由な発想で実施されたイベントや活動を審査・表彰している。「実現した夢」部門において入選し、園芸リサイクルの普及促進に寄与した。

また、年間600点の資源循環を実現し、企業・自治体と連携した多主体共生の先駆的モデルを確立した。

5. 公園の魅力度向上イベントの受け入れ

第4回 東京パークガーデンアワード in 夢の島公園



東京都・東京都公園協会の施策である東京パークガーデンアワードの会場として、花壇の造成やコンポストの設置に関しては企画段階から参画し、新木場エリアの企業等を紹介するなど、スムーズな設置に協力した。コンポストは今後の維持管理作業の際に発生する草花ゴミなどを堆肥化し、花壇に還元する目的で設置された。

6. 公園内安全確保の取組み

公園内給水管漏水対応



5月に陸上競技場南側にて漏水を確認し、迅速に補修対応を実施。その後、発生箇所不明の漏水が発生しており、調査及び補修対応継続中。

緊急樹木点検対応



来園者の導線を重点箇所として樹木医も含めた点検を実施し、危険木を伐採。大径木管理も計画的に実施し「落枝による事故ゼロ」を達成。

公園内側溝特別清掃



園路の滞水及び排水機能改善することで、大雨・デング熱ウイルス対策に寄与し、台風シーズン前に良好な衛生環境を確保した。

1. 開館時間延長による夜間開館イベント開催

ゆめねつ夜間開館2025

「夜の大温室開放」として、夜に咲く・香る花など普段見ることができない植物の魅力を伝えるイベント。

4日間で3819名が来館した。日平均来館者数は前年比113%となり、イベント全体の来館者数も増加した。

開催日数を増やしたことで来館者が分散したため、夜に咲く・香る花をゆったりと楽しんでいただける環境を提供できた。

Garden of EDEN

スマホゲーム「あんさんぶるスターズ！」とコラボし、ゲーム内ユニット「Eden」の世界観を夜の温室にて光と音で表現した。

約3週間で9238名の方が来館。多くの方が通常営業時間にも来館され、植物館のことを好きになっていただくなど来館促進及びリピーターの獲得につなげることができた。

11・12月は閑散期で来館者数が減少する月であったが

11月(前年比27.6%増)

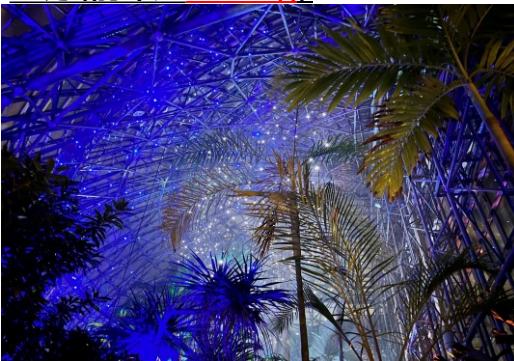
12月(前年比146%増)

Aerosculpture ver.2『匂う森』

東京都の取組みであるCCBTのコアプログラムとして、匂いと音による体験型アート・インスタレーションを展開し、植物館の新しい楽しみ方や貴重な体験を来館者に提供できた。

3日間で3323名の幅広い年齢層の方が来館した。

「くじらのしっぽ」と「daytune.」が連携して作成しているハーブティーをイベント参加者にプレゼントし、取り組みの認知度向上や「多様性を認め合う」価値観の醸成に貢献できた。



2. 地域連携による施設の魅力発信及び環境関連の普及啓発活動の実施

地域回遊イベント参加



小笠原スタンプラリー

出張授業・地域企業連携



江東区毛利小学校 ラン大賞

地域連携・環境教育



江東区環境フェア



JR東日本主催「駅からハイキング&ウォーキングイベント」



(株)明治主催「明治力カオ・チョコレート体験ツアー」

ロボットの活用や出張園芸リサイクル、アウトリーチ活動の中で植物や環境についての普及啓発活動を行うことができた。

「こらぼら」を通じて始まった長年の連携による協働体験ツアーを実施し、来館誘導に寄与した。

3. 植物の魅力

小笠原固有種の地域外保全にチャレンジ！

熱帯植物の魅力発信



小石川植物園より小笠原固有種6種21鉢を譲渡いただき、同植物園との情報交換に基づいた灌水方法等の見直しを行った結果、生育状況が向上した。スタッフは外部研修に参加することで、技術力と知見の向上に努めた。



Facebookからnoteへ移行

4. 新規企画展開催による施設魅力向上及び新規層の獲得

テラリウム展



全方位の多角的な企画(企画展、ワークショップ等)と企業連携により、テラリウムについて多面的な学びの場を提供した。

ゆめねつ×とよ田みのる
これ描いて死ねポップアップ展



作者のファンの方が遠方からも来館されるなど初めて来館される方も多く施設の認知度向上と来館誘導につながった。

みなはむ個展「植物館のある生活」



ポップアップ展から企画展に発展した事例。モデルになった風景MAPを用意したことで館内を再度まわられる方もいるなど植物館自体を楽しんでいただき、リピーター獲得につながった。

5. 施設長寿命化に対する取り組み



栽培温室Aとビニル棟の温水管の漏水が発生し、暖房機能が停止したため、夜間温度調節のため、臨時暖房器具(石油ストーブ、温風ヒーター、温熱ヒーター)を設置し、管理方法も見直し、植物の保護に努めた。



イベントホールと植物館正面入り口用監視カメラ修繕工事を実施した。

新江東清掃工場の熱供給停止と熱中症対策のため、映像ホールに冷房機器を設置した。



6. 安心安全への提供

可動式授乳室 mamaro



おむつ替えコーナー
子どもおむつボックス



生理用品ディスペンサー OiTr



「これらの設備があることで安心して来館できる」との声をいただいている。